

真生会富山病院を受診された患者の皆さま

当院は下記の研究を実施しています。この研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供することを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

| | |
|--------------------|---|
| 研究課題名 | 近視性脈絡膜新生血管発症の危険因子 |
| 当院の研究責任者(所属) | 青柳 明李 (真生会富山病院アイセンター) |
| 他の研究機関および各施設の研究責任者 | 該当なし |
| 本研究の目的 | 強度近視眼では眼軸が高度に伸展し、眼球後方に存在する膜が断裂することがあります。それをLacquer crack(以下Lc)といいます。そのLcを有する眼では近視性脈絡膜新生血管が発症するリスクが高いと言われています。本研究ではLcに焦点をあて、近視性脈絡膜新生血管が発症するリスクが高い眼を明らかにすることです。近視性脈絡膜新生血管を生じるリスクが高いLc眼を把握することで早期発見と早期治療に繋がると考えます。 |
| 調査データの該当期間 | 研究実施期間:承認日から令和4年2月10日 調査データの該当期間:平成20年1月1日から令和1年12月31日 |
| 研究の方法(対象となる方) | ① 年齢:20歳以上の成人 ② 性別:不問 ③ 入院/外来:外来のみ ④ インドシアニングリーン蛍光眼底検査にてLacquer crack所見を示すもの |
| 研究の方法(使用する情報) | ・患者背景:性別、初診日の年齢、現病歴、既往歴、合併症、前治療 ・検査結果:眼軸長結果、インドシアニンググリーン蛍光眼底検査結果、眼底部自発蛍光画像 広角眼底写真、OCT画像結果 |
| 試料/情報の他機関への提供 | 該当なし |
| 個人情報の取り扱い | 使用する情報から氏名や住所等の対象者を直接特定できる個人情報は削除いたします。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も対象者を特定できる個人情報は使用いたしません。 |
| 本研究の資金源(利益相反) | 本研究に関連し、開示すべき利益相反はありません。 |
| 相談・問い合わせ・苦情 | 電話:0766-52-6979 担当者: 青柳 明李 (視能訓練士) |
| 備考 | |